

塗装職人 × 畳職人 × 布団職人 = 恩返し腰掛け

豊川市のふるさと納税のお礼の品は、市内の事業者の方々から寄附していただいた品物を寄附者の方にお送りしています。

その事業者の方々にお礼の品を提供することへの思いなどをインタビューさせていただきました。

今回は、豊川市の職人3人が結集し開発した「腰掛け」を提供いただいている、神谷塗装工業の神谷さん、小田たたみ店の小田さん、そして寝具のゆたかやの鈴木さんにお話を伺いました！

今回返礼品としてご提供いただいているのは、豊川市の **塗装職人 × 畳職人 × 布団職人** の3人が生み出す完全受注品の「腰掛け」です。

この3人は、進雄神社（すさのおじんじゃ）のお祭り（※愛知県の無形民俗文化財に指定）仲間で30年来のご友人です。

ある日、「足が悪くて靴が履けない、横になる時も大変」というお客様の声を聞いて、3人の仲間が地元のために何かできないかと集結、考案されたのが、この「腰掛け」です。全てMADE in TOYOKAWAで、小さなお子さんが舐めてしまっても大丈夫のように特殊な塗料で仕上げられてあり、さらには介護、整形の先生のアドバイスも取り入れ、転倒防止や耐荷重にまで配慮した、まさに職人技がキラリとひかる腰掛けです。

「地元への恩返し」という思いがきっかけとなった、真心こもった温かい「腰掛け」なのです。



腰掛け
高さ 38 cm × 奥行き 40 cm × 44 cm
合板プリント材

寄附金額 36,000 円以上

数量限定 5 件（年間）

発送時期 寄附月の翌月中旬

●ある日、お客様がこう言った。「膝が痛くて靴を履くのが大変。」この一言からなんどからないかと三人の職人が集結し開発しました。手のこもった完全受注生産です。

協力 神谷塗装店 × 小田たたみ店 × 寝具のゆたかや